



Rotary Club of AMA weekly report.

2015-16年度
国際ロータリーターマ



世界へのプレゼントになろう

2015-16年度 RI 会長 K.R.ラビンドラン 第2760地区ガバナー 加藤 陽一

会長 東海 広光 副会長 西川 広樹 幹事 児玉 憲之

例会日 毎週月曜 例会場 名鉄グランドホテル

事務所 〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル

TEL (052) 451-6617 FAX (052) 451-6710 e-mail : kk01-ama@eos.ocn.ne.jp



2015年11月9日（曇りのち雨） 第1週 第2130回例会

Song ”君が代・奉仕の理想”

Guest 米山奨学生 グエン シン コン君

Attendance

会員	78名	欠席	10名	出席率	84.85%
----	-----	----	-----	-----	--------

10月分修正出席率の報告

10月5日出席率	100%	欠席	0名
10月19日出席率	100%	欠席	0名
10月26日出席率	100%	欠席	0名

President Time 東海広光 会長



皆さん、あらためましてこんにちは。10月31日と11月1日と2日間に亘り地区大会が開催されました。我がクラブから神戸PDGをはじめ役員・理事、入会3年未満の新会員さんに参加いただきました。本日この後6名の方に地区大会の報告をしていただきます。よろしくお願いいたします。さて、本日只今より次次期49代会長選任のための総会を開催いたします。あまロータリークラブ細則に従い、次次期会長指名委員会において、次次期会長として立松絹久君を推薦いたします。すでに理事会においてはご承認をいただいております。本日総会議事として会員の皆様にご承認をいただきたいと思います。賛同いただける方は拍手をもってご承認ください。誠にありがとうございました。これに

よりあまロータリークラブ第49代会長に立松絹久君が選任されました。立松絹久君、誠におめでとうございます。そしてよろしく願いいたします。続きまして次期役員理事候補者指名委員会を発足し、指名委員として児玉幹事、篠田正志次期会長、黒川次期幹事、立松次次期会長、私の5名を選任いたします。12月第一例会において年次総会を開催いたします。次期役員・理事候補者氏名を発表いたします。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。それではこれにて総会を終了させていただきます。なお、この総会はあまロータリークラブ細則第5条第3節により、会員総数の3分の1以上の出席をいただいておりますので成立といたします。

今日は今から52年前の1963年11月9日にロータリーの創始者ポール・ハリスのジーン夫人が82歳で逝去された日でございます。「1910年3月のある美しい土曜日、私はプレーリークラブの仲間達とともに、シカゴ郊外のエルジンとオーランドに向かう電車に乗った。独身だった私は、結婚についてそれなりに意識していました。つまり、生涯の伴侶を得るという至福の可能性に、常に心を開いていた。…そんな時美しいジーンに出逢ったのだった」とポール・

Today 11月16日（第2131回）

担当 立松絹久 プログラム委員長

演題 卓話「うらばなし」

宮本 忠博氏

Next Week 11月30日（第2132回）

担当 渡辺 均 ロータリー財団委員長

演題 クラブフォーラム

ロータリー財団地域コーディネーター補佐

深谷 友尋君(名古屋みなとRC)

ロータリー財団委員会

ハリスは自ら語っていました。短い交際期間を経て、1910年7月2日正午、二人はシカゴで結婚式をあげ、1912年に築2年の家を購入し、ジーンが少女期を過ごしたエジンバラにあった通りの名にちなみ、この家を「カムリーバンク」と名付けました。二人の馴れ初めは、プレーリー・クラブの山歩きの最中に、いばらの棘で破れた服をジーンが縫ってあげたことでした。二人は、シカゴや世界中から友人達を招いたり、シカゴロータリークラブの例会をこの自宅で開くこともありました。天気の良い日には庭に集まり、彼らはこの会合を「友愛の庭」と呼んでいたそうです。ジーン夫人は信仰深いトンプソン家の8人兄弟の5番目で、素晴らしく魅力的な女性だったと言われていました。37年間ハリスに連れ添い、ロータリーの発展に努め、ハリスの世界中のロータリーの講演旅行にいつも同行し、何度かハリスに代わって講演もしたそうです。1947年ハリスの死後、ジーンはしばらくカムリーバンクにとどまりましたが、間もなく家を売り、1955年には故郷のエジンバラに戻り、52年前の今日、82歳の生涯を終え祖国で永眠いたしました。遺産は全てロータリー財団に寄付されました。ハリスとは海を隔てて何千キロも離れたエジンバラのニューイントン墓地に先祖とともに眠っています。墓石には「常に変わらぬ信仰と豊かな慈愛の心を持った婦人」と刻まれており、エジンバラのクラブが管理をしております。ポール・ハリス夫妻は子供に恵まれず、ハリスの自叙伝には「子供がいない私たち夫婦は国際ロータリーを養子にしました」と書いています。二人の家は1955年に売却され、家の持ち主はその後2度変わりましたが、2005年、創設者を記念する建築物として保存したいという願いから、ロータリーアンが55万ドルでこの家を買取りました。現在この家の保存プロジェクトにご支援をということで寄付を募っています。100万ドル以上の寄付者には家の玄関ホールに名前が掲げられるそうです。皆さん一口いかがでしょうか。以上で会長挨拶を終わります。

Secretary Report

児玉憲之 幹事

1 西尾張分区IMのご案内

日時 2016年2月6日(土)

場所 名鉄ニューグランドホテル 7F

※全員登録です。

2 一宮・一宮北・一宮中央RC事務局移転のお知らせ

新住所 〒491-0858 一宮市栄4-6-8

一宮商工会議所ビル5F

※TEL・FAXは変更ありません。

3 インドポリオワクチン投与活動のご案内

日時 2016年1月17日(日)

場所 インド

※興味のある方は事務局までお申し出下さい。



米山奨学生 グエン シン コン君に奨学金贈呈

地区大会報告

山田尊久君



地区大会で、私自身が感動した事、記念講演を聞いて学んだこと、そして自分のロータリーとともに歩む姿をイメージできた事について話をさせていただきます。

一つ目の感動した事は、まさしく光ヶ丘女子高等学校ダンス部のオープニングアトラクションです。力強く躍動的で、華やかな踊りでした。この若いエネルギッシュな踊りは、2760地区のそれぞれのロータリークラブが、二度とないこの一年間の活動を、力いっぱい取り組んでいる事の

象徴のように感じました。

二つ目は記念講演を聞いて学んだことについてであります。東海道新幹線とリニア中央新幹線という演題で話された葛西敬之さんです。入社以来52年になると仰っていました。国鉄時代、そして民営化された東海旅客鉄道、さらにこれからという三つのテーマで話されました。リニアは20年研究してやっと現実的になった。これからは、日本の経済、世界の経済が変化する中で、自分の会社のキャッシュフローを使いながら、健全経営で取り組むことを心がけていきたいと話しを結ばれました。目標に向かって、経営努力されている事が、事業を続けられる鍵だと、私は感じました。

三つ目は、自分のロータリーとともに歩む姿についてであります。地区大会を終え、家で改めて地区大会のご案内という冊子を開きました。そしてラビンドランRI会長のプロフィールを読みました。その中で、「私たちの人生には、いつか終わりが訪れます。しかも、終わりは思ったより早く来るものです。この限られた人生をどのように過ごしたらいいのでしょうか」と問いかけています。

私は、地区大会を通して、自分自身、ロータリーとともに歩む姿を考えるととても良い機会を得ることができたと感じております。これで報告を終わります。有難うございました。

藤田隆志君



皆様、こんにちは。今月1日に初めて参加させて頂いた地区大会のご報告をさせていただきます。なにぶん本年7月より入会させて頂いたばかりで、ロータリーの何たるかも判っておりませんが、知らない者の率直な視点で感じたことをご報告させていただきます。

まず、初めて参加させて頂いた地区大会の会場に入るとの第一印象は、参加人数の多さです。愛知県・2760地区約4900名の会員のほんの一部しか参加していないにもかかわらず、会場を埋めた人の波に圧倒されました。もともと1人1人でもパワーあふれるロータリアンの皆様、これだけの数結集してる。このことで、できることの大きさ、知り合うことでの可能性の大きさは、どれほどのものになるだろうと、まず感銘をうけました。次にRI会長代理として来られたイム・チャン・ゴンさんのお話です。「ロータリークラブは世界最大の奉仕団体であり、世界で2億ドルもの寄付をした」というのは、この規模の大きさをまさに表していると思います。「1人でできない事を多くの人が集まって大きなことをする」。ロータリーの数のパワーを実感致しました。そして同時に、ここまでくるにあたって約100年にわたって積み上げ来た歴史の重みを感じました。最初はポール・ハリスと他数人でシカゴ始まったものが、年月を重ねて、日本の1地方であるこの名古屋での地区大会に、副知事・岡崎市長等をお招きして盛大に、そして大勢の会員が参加して開催するまでになったということに、立ち上げた先輩方が心血を注ぎ、世の中に必要とされる組織は活動を積み重ねることで、留まることなく大きくなるのだなと、積み重ねの大切さとその結果としての影響力の大きさを感じました。その他に「新しい歴史の主人公として、短い人生をどう生きるか」「『世界の為に何ができるか、何をすべきか』、「常に進化し、時には革命的な変化が必要」等々、熱いお話が続きました。

正直な所、ポリオの撲滅が最大の目標であるということについては、身近に小児麻痺の方がいないこともあり、ピンときませんでしたし、この地区大会の狙いが何かということも、まだ私のレベルではよく判りませんでした。大勢の仲間がいて、まずは何か自分でできることから、新会員研修でお伺いした様に職業奉仕をまずしっかり行いそしてクラブ奉仕を行って、お役に立っていければと考えます。

青本道春君

まだロータリーに入会して日が浅く、地区大会と言っても何をするのか解らず、言われるがまま、出席をしました。会場では大変大勢の方達が出席をされ、アトラクションでは高校生がいきいきとダンスを踊り、ロータリー活動としては留学生を送り出し、受け入れ、また数々の奉仕活動の



報告、発表をされていました。ロータリーはいろいろな形で世の為人の為、平和の為に世界的規模で活動しているのだと教えられました。今回の地区大会を通じ、感じた事は、「奉仕」というボールに多くの方が本質を見出し、奉仕というボールに集中していることです。

先ごろ、ラグビーワールドカップで南アフリカにさくらジャパンが初めて勝ち話題になりました。勝ち負けは別にしたたった一つの小さなボールに世界の何億の人達が注目、集中、感動をする。野球であればたった1つの手のひらに乗る小さなボールに注目、集中、感動。サッカーともなれば世界中の何億の人達がたった1つのボールにテレビに釘付けになるように、世界中のロータリアンが奉仕というボールに集中しているように見えました。私はまだ入会浅い、ロータリアンとも言えないロータリアンです。ロータリーの本質が「奉仕」なのかどうかは、はっきりとまだ分かりませんが、地区大会を通じ、そのように感じました。奉仕するにはいろんな条件が必要だと思います。条件のそろった人が自分の利益のみを追求する側にまわるか。自分の利益を他人に、一部を奉仕する側にまわるか。ロータリアンは後者を選んだ人達の集まりのような気がします。100年以上継続し、世界平和を訴え同じ考えの仲間を大事にし、何らかの形で実行持続している事に感動と関心をしました。自分も他人の力に助けられ、ここまで生きてきました。この年数を無駄にしないように、自分のできる範囲を平常心でお役に立てるよう努力しようと思います。

北澤英一君

2015～16年度国際ロータリー第2760地区地区大会に参加いたしました。初めてでありましたし、本会議2日目からの参加でありましたので、大会全体の雰囲気を感じる



には至りませんでした。少しですが新しい体験ができたことで、また一つロータリーを知ることができました。

こういった事業に参加していつも思うことが、設営をされる方々のご苦労であります。大会を成功させるために費やされた時間などは相当のものと思いますし、何事もなく進行して当たり前の中の緊張感の中で、「おもてなし」の心を持って運営された岡崎東ロータリークラブの皆様には僭越ではありますが、大変お疲れ様でしたと申し上げさせていただきます。

私もあまロータリークラブに籍を置いていただいている間に、設営する側になる機会があるかもしれません。その時のために、これからもこのような事業に参加させていただく時は、「お互いさま」の気持ちを持ち、失礼のないように参加させていただくことを心がけていきたいと思っています。

大竹敬一君



今年の地区大会について、また雑感的に報告します。

①いつもながら学生さんによるアトラクションは感動します（今年度の光が丘女子高校ダンス部のパフォーマンスも素晴らしかったと思います）

②イム・チャンゴンRI会長代理は、本当にまじめな方で、報告しなければならないこと、ロータリーの精神などをきちっと伝えられたのだと思います

③JR東海・葛西名誉会長のご講演は、何度かお聞きしたことがありましたが、今回はご自身のかかわられた国鉄、JRの歴史と技術開発について、本当に解りやすくお話しいただき、とてもよかったと思います。

④最後まで参加したのは久しぶりでしたが、やはり全体に非常に長く思いました。

⑤ロータリーファミリーを会場の後ろの方で、最後まで付き合わせたのは、可哀そうだなと思いました。せめて委員会報告の時に壇上でご紹介してあげてほしかったと思います。(一応国際奉仕委員長としての感想)

児玉憲之 幹事



国際ロータリー2760地区2015-2016年度地区大会に参加いたしましたので、ご報告申し上げます。

岡崎東ロータリークラブのホストにより10月31日(土)・11月1日(日)の2日間にわたり、ウェスティンナゴヤキャッスルにて開催されました。RI会長代理は、国際ロータリー第3700地区パストガバナーYIN、CHANG-GONさんをお迎えしました。

本会議1日目は、岡崎高等学校コーラス部によるオープニングアトラクションの後、加藤陽一ガバナーによる点鐘で始まりました。YIN、CHANG-GON RI会長代理挨拶では、「2015-16年度国際ロータリー会長K.R.ラビンドランがスリランカで、イギリス植民地時代に支配されていた紅茶畑を買い取って大成功し、その後国内の内乱で農地を政府に取り上げられ無一文になった。それから再起をかけて、紅茶をパッケージする会社を立ち上げて国際的な大会社に育成した。」内容の話をされました。さらに、「そこで

得られた莫大な利益をスリランカ国内でポリオ撲滅活動に使ったこと。そのために対立していたイスラム教徒とヒन्दゥー教徒の内戦停戦に身を捧げたことを」話されました。

閉会・点鐘後は、RI会長代理歓迎晩餐会に出席し、楽しい時間を過ごさせて頂きました。



本会議2日目は、あまロータリークラブから総勢20名強(自由席のため、確認の取れない会員もいる)が参加し、光ヶ丘女子高等学校ダンス部によるオープニングアトラクションの後、大会プログラムにしたがってスムーズに進行していきました。

15時からは東海旅客鉄道株式会社代表取締役名誉会長の葛西敬之氏の記念講演を拝聴しました。在来線のサービス向上、東海道新幹線の270km/時運行、リニア新幹線の3点を経営者目線で、財務面からは会計の数字を使って解りやすく話されました。

最後に、大会運営をされました岡崎東ロータリークラブに敬意を表すとともに、当クラブからも多数の会員に参加いただきまして、この報告紙面を利用して心から感謝申し上げます。



「東海年度第2回新会員研修会」

開催日：平成27年11月5日（木）

報告者：鈴木正徳米山奨学委員長兼地区研修委員



平成27年11月5日（水）、名鉄グランドホテル18階「涵梅舫」において、入会3年未満の会員を対象に、東海年度第2回新会員研修会を開催いたしました。8月に開催された1回目の研修会と同様、東海広光会長・鈴木正徳君が先生役となり、参加者の新会員（名簿順に青本道春君、藤田秀樹君、藤田隆志君、北澤英一君、篠田耕伸君の5名）と入会3年未満の中西巧君、大西晃弘君の合計7名が受講し、参加人数は、オブザーバーを含めて総勢19名でした。

18時からスタートし、まず、パストガバナー神戸政治君から「研修会は、ロータリーを学ぶ上でのきっかけであって、会員個々が自ら学び、解らない事は各書籍で調べて先輩に質問するぐらいであって欲しい」と温かいエールをいただきました。次に、わたくし鈴木正徳がテキストを利用して、「奉仕の理想－2つの奉仕哲学」と「決議23-34」を説明しました。そのテキストは、東海会長がロータリーの文献及び書籍より抜粋した手作りの6ページに及び新会員研修向けものです。続いて、ロータリーの誕生から国際ロータリーへ移行していった歴史を当時密接にかかわった人物像を通して解説し、最後は、日本ロータリー創始者米山梅吉（1868~1946）についてお話しして研修会を終了しました。

終了後、19時15分より質疑応答を兼ねた懇談会を総勢18名で開催いたしました。黒野晃太郎君の乾杯の発声の後、和気あいあいの雰囲気のもと、多くの質問や疑問点が出され、東海会長はじめ先輩会員が丁寧に回答していきました。

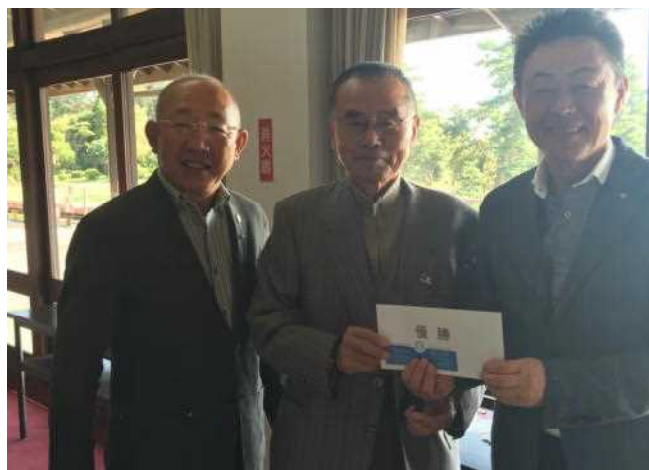
最後に、歴代会長やパストガバナーも参加して実施でき

た研修会及び懇談会を企画していただきました東海会長、ロータリー情報委員長真木伸一君に感謝を申し上げるとともに、多数の参加をいただきましたクラブ会員みなさんにも、大変有意義な会となりましたことに改めて感謝申し上げます。



第 423 回 ゴルフ 部 例 会
2015年10月8日 桑名CC

Rank	N A M E	OUT	IN	GROS	H' C	NET
優勝	前田重廣	47	47	94	18.0	76.0
2位	中島英之	48	46	94	18.0	76.0
3位	西川広樹	46	46	92	15.8	76.2
4位	板津和博	49	44	93	14.8	78.2
5位	青本道春	45	50	95	16.8	78.2
6位	高山 敏	53	51	104	25.2	78.8
7位	武藤正俊	42	44	86	6.6	79.4
8位	宇津山弘	54	49	103	23.0	80.0
9位	北澤英一	55	48	103	22.8	80.2
10位	黒川元則	44	43	87	6.0	81.0
11位	鈴木與左衛門	56	53	109	26.4	82.6
12位	栗木和夫	51	46	97	13.8	83.2
13位	松井英治	57	53	110	24.0	86.0
14位	篠田正志	54	51	105	17.4	87.6
BB	臼井幹裕	66	54	120	30.0	90.0
16位	谷川浩司	55	62	117	24.0	93.0



東海広光 会長

- ・田中正博君、藍綬褒章受章おめでとうございます。まさに職業奉仕ですね。あまRCの誇りです。
- ・立松君、あまRC第49代会長指名決定おめでとうございます。平成29年7月3日立松年度第1回例会はすぐに来ますよ。
- ・地区大会出席の皆様、お疲れ様でした。5年前、我がクラブが黒野実行委員長、渡辺実行幹事、岩島会長の下、ホストクラブとして大成功に終えたことが思い出され、あまRCの素晴らしさを再確認いたしました。本日発表の皆様、よろしくお願いいたします。
- ・新会員研修会ご参加の皆様、お疲れ様でした。「ロータリーを学び ロータリーを楽しもう」のテーマの下、内容の濃い勉強が出来たと思います。鈴木正徳先生、有り難うございました。
- ・後藤真君、立派なアワビを有り難うございました。新会員研修会参加の皆さんで美味しくいただき、大喜びでした。

西川広樹 副会長

- ・11月19日のボージョレヌーボー、多数の出席をお待ちしております。

児玉憲之 幹事

- ・地区大会に参加の皆様、お疲れ様でした。今日の例会で報告される皆様、よろしくお願い致します。
- ・第2回新会員研修会に参加の皆様、お疲れ様でした。
- ・後藤真君、アワビの差し入れ、有り難うございました。

田中正博君

- ・この秋の褒章で、藍綬褒章のご褒美をいただきました。東海会長をはじめ、あまRCの皆様から、沢山のご祝意をいただきまして有り難うございました。今週の金曜日に皇居において天皇・皇后両陛下の拝謁をいただけてきます。

前田重廣君

- ・ニコボックスの皆様、ご苦労様。

篠田正志君

- ・息子に待望の跡取りが生まれました。
- ・藍綬褒章受勲、田中正博君、おめでとうございました。

紅谷幸政君

- ・去る9月28日、大動脈解離という病気になり、38日間入院して無事退院することが出来ました。

古川 宏君・横井久雄君

- ・田中正博君、秋の叙勲受章おめでとう。

黒川元則君

- ・後藤真君、いつもお心遣い有り難うございます。
- ・東海年度研修会、鈴木正徳先生、大変勉強になりました。
- ・神戸パストガバナー、有り難うございました。

藤田隆志君

- ・田中正博君、受章おめでとうございます。

神戸政治君

- ・11月5日の新人研修会出席の皆さん、ご苦労様でした。

加藤憲治君

- ・鈴木正徳君、貴重な物を有り難う！

黒野晃太郎君

- ・新人研修会、勉強になりました。
- ・田中正博君、おめでとう。

中西 巧君

- ・新会員研修会にご参加の皆様、お疲れ様でした。大先輩より貴重なお言葉を頂き、勉強になりました。

酒井和雄君

- ・田中正博君、受章おめでとう。
- ・伊藤英毅君、有り難う。

青本道春君

- ・新会員研修会、大変勉強になりました。後藤真君、あわび有り難うございました。

後藤 眞君

- ・田中正博君、何かと良いことがありますねえ。人柄ですねえ。

家田安啓君

- ・辺野古にカヌーを送りました。沖縄の海をまもるため。

板津和博君

- ・秋の叙勲で我が社のオペレーターが瑞宝単光章をいただきました。

岩島裕芳君

- ・田中正博君、新聞見ました。かっこいい！

水野 眞君

- ・名古屋能楽堂で、謡曲長唄の会で栗本君お嬢さん（市川九女）、素晴らしいステージおめでとう。

水谷安紀君

- ・田中正博君の笑顔に負けました。

大西晃弘君

- ・先日の新会員研修会にご参加の皆様、お疲れ様でございました。

立松絹久君

- ・岩島君、昨日のピアノコンサート、とてもよかったです。CDを2枚も買ってしまいました。有り難うございます。

臼井幹裕君

- ・藍綬褒章の報に接して、喜びに耐えません。
- ・東海年度新会員研修に参加して、頭をリセットしました。

山田幹夫君

- ・田中正博君、褒章受章おめでとうございます。今後益々のご活躍をお祈りします。

山田尊久君

- ・大治ちびっ子農園で収穫されたさつまいもを使って、スープを作ってくださいました。秋の味覚を楽しんで下さい。

吉田 勤君

- ・今年度第1回社会奉仕・RCC・環境保全合同地区研修会に参加しました。とても勉強になりました。

投函件数28件 合計 101,000円